

市響音

第383回 交響楽の午後

ブラームスの午後

悲劇的序曲 作品81

ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲 作品102

交響曲第2番 作品73

2015.7.20 (月・祝)

午後2時開演 (1時30分開場)

市川市文化会館大ホール

(JR総武線・本八幡駅下車)

入場無料

〈この演奏会は未就学児のご入場ができません。〉

ブラームスの午後 プログラム

悲劇的序曲 作品81

ヴァイオリンとチェロのため二重協奏曲 作品102

I Allegro

II Andante

III Vivace non troppo



交響曲第2番 作品73

I Allegro non troppo

II Adagio non troppo - L'istesso tempo, ma grazioso

III Allegretto grazioso (Quasi andantino) - Presto ma non assai - Tempo I

IV Allegro con spirito

プロフィール



倉富亮太 くらとみ りょうた (ヴァイオリン)

東京都町田市出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京芸術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業。在学中に福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。現在、同大学音楽研究科修士課程ヴァイオリン専攻に在学中。

全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、全国大会第3位。大阪国際音楽コンクール大学生の部第1位、併せて文部科学大臣賞、ストリング賞受賞。市川市文化振興財団新人演奏家コンクール最優秀賞。平成25年度優秀学生顕彰大賞受賞。公益財団法人青山財団奨励学生。平成25年度 優秀学生顕彰大賞受賞。

ヨーゼフ・シゲティ国際コンクール入賞。Mykola Lysenko 国際コンクール第3位。ロドルフォ・リピッツァー国際コンクール第2位(最高位)、聴衆賞、ソナタ賞、オーケストラ賞受賞。シンガポール国際コンクールセミファイナリスト。芸大モーニングコンサート、新卒業生紹介演奏会などに出演。室内楽では在学中にLemoned Quartetを結成。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2012第2位。リゾナーレ室内楽セミナー奨励賞受賞。

紀尾井シンフォニエッタシーズンメンバー。(2014-2015) 別府アルゲリッチ音楽祭マラソンコンサート、木曜コンサート、藝大室内楽定期演奏会などに出演。群馬交響楽団のゲストコンサートマスターを務める。

これまでに千田成子、清水高師、P.アモイヤル各氏に師事。



山澤慧 やまざわ けい (チェロ)

東京都町田市出身。東京芸術大学附属高校、同大学を経て、同大学院を修了。大学卒業時に同声会賞受賞、大学院修了時に大学院アカンサス賞受賞。

第21回市川新人オーディション優秀賞。第28回江戸川区新人コンクール第1位。第10回ビバホールチェロコンクール第3位。第17回コンセールマロニエ21弦楽器部門第2位。第2回秋吉台音楽コンクールチェロ部門第1位。第11回現代音楽演奏コンクール"競奏XI"第1位、ならびに第24回朝日現代音楽賞受賞。学内に於いて、芸大フィルハーモニアとドヴォルザークのチェロ協奏曲を共演。室内楽定期演奏会に出演。

音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子の各氏に師事。

チェロアンサンブルXTC、アンサンブル室町、音楽集団"渦々"メンバー。芸大フィルハーモニア首席チェロ奏者。



大勝秀也 おおかつ しゅうや (指揮)

東京に生まれる。東京音楽大学卒業。1988年ドイツに渡り、ボン市立歌劇場音楽監督のアシスタントとして数多くのオペラを指揮し、その後、1991年ゲルゼンキルヒェン市立歌劇場第一指揮者、1994/95シーズンよりボン市立歌劇場第一指揮者として契約。ドイツを中心にヨーロッパ各地で活躍し、1996年5月/6月ボン歌劇場海外公演を行なった。

オペラ公演以外にも、ボン・ベートーヴェン・ハレ管、北西ドイツ・フィル、ザグレブ・フィル等と協演。また、シュトゥットガルト室内オーケストラとCD録音を行ない、1995年3月/4月にはアメリカ、オーストラリアに演奏旅行を行なった。

1996年7月よりマルメ歌劇場音楽監督に就任。1999年5月には同歌劇場管弦楽団とCD「バーンスタイン：ウエストサイド物語／ストラヴィンスキー：火の鳥」をリリースし、スペイン演奏旅行を行なった。

国内では、1998年7月二期会「フィガロの結婚」、1999年6月NHK交響楽団定期演奏会、1999年11月新日本フィルハーモニー交響楽団定期、2000年9月の大阪センチュリー交響楽団（現・日本センチュリー交響楽団）定期、2002年日生劇場「日本人オペラシリーズ3/久保麻耶子：羅生門」公演、関西二期会で「ルチア」「ばらの騎士」「タンホイザー」「ノルマ」などを公演し好評を博している。

2006年6月ポリショイ劇場で「トスカ」を指揮し大喝采を浴びた。その後ポーランドでソプラノの森麻季とレコーディングを行った。

2011年12月に金沢と高岡で、2012年1月には東京の新国立劇場で、泉鏡花原作、池辺晋一郎作曲の「高野聖」を初演し好評を博した。

2012年10月大阪でフェラーリ作曲のオペラ「イル・カンピエッロ」を上演し高い評価を受けた。

この他、群馬交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等とも協演しており、正統ドイツの薫り豊かな演奏が高く評価されている。

現在、昭和音楽大学非常勤講師。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。

管弦楽：市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

2016年に創立65周年を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は高校生から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として「クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう」をモットーに常に積極的な活動を展開している。

本日の出演者

【コンサートミストレス】

立田 祥子

【第1ヴァイオリン】

石崎 俊信

石本 恵理

上田 佳津子

大橋 一郎

大橋 かおる

鎌田 真貴

亀井 玲子

菅原 夕

時田 枝里子

秦 一宜

三野 彰久

渡辺 綱介

【第2ヴァイオリン】

佐分利 幸江

柴崎 友梨

滝澤 葉子

富田 八江子

早川 貴子

林 美穂

久田 しげ子

細貝 春

溝田 範子

武藤 敦子

村上 葉子

吉岡 一郎

【ヴィオラ】

内田 綾美

小名 康仁

高野 重樹

谷口 善樹

奈良林 弘子

星 乗昭

本郷 尚子

若林 繁

【チェロ】

安部 博秀

岩田 啓子

片山 温子

倉澤 倫子

猿田 諒介

中村 公一

林 恭代

日澤 優

平得 裕子

福原 耕二

本澤 麻理

【コントラバス】

池田 和正

上村 啓介

神代 順子

高間 友明

番場 仙嘉

前田 秀晃

村上 信乃

【フルート】

遊馬 陽子

木村 眞論紀

番場 ますみ

【オーボエ】

二村 直子

本間 広樹

【クラリネット】

秋永 直美

井垣 貴嗣

時田 雄

半藤 嗣人

八木 良子

【ファゴット】

遠藤 由紀子

金坂 哲

菅原 斉

山内 静

【ホルン】

木下 泰斗

近藤 利昭

嶋村 恒夫

武井 綾香

林田 朋子

山内 正晴

【トランペット】

関 良馬

田崎 真二

【トロンボーン】

坂田 圭

澤井 晴美

吉川 昌憲

【チューバ】

渡邊 鉄雅

【打楽器】

都筑 裕

和田 英恵

ブラームス 年表（管弦楽曲を中心に）



17歳ごろ



20歳



21歳



28歳



47歳



56歳



ヨハン・シュトラウスと 60歳



ブラームス墓

西暦(年齢)	主要作品とその背景
1833年(0歳)	5月7日 ハンブルグに生まれる ロシア五人組の1人ボロディンもこの年に生まれている。
1853年(20歳)	デュッセルドルフでシューマン夫妻と出会い、才能ある若手作曲家として認められる。シューマンの妻クララとは1854年のシューマンの投身自殺未遂と2年後の死以降も、親しく交流を続け、ブラームスの多く曲の試演はしばしばクララとの2台ピアノで行われた。
1857年(24歳)	セレナード第1番
1859年(26歳)	ピアノ協奏曲第1番
1873年(40歳)	ハイドンの主題による変奏曲
1876年(43歳)	交響曲第1番 19年の歳月をかけての完成であった。
1877年(44歳)	交響曲第2番 南オーストリアのペルチャッハに避暑のため滞在して作曲。ブラームスは「ここにはメロディがたくさん飛び交っている」と語ったという。チャイコフスキー「白鳥の湖」もこの年の初演。
1878年(45歳)	ヴァイオリン協奏曲
1880年(47歳)	悲劇的序曲 大学祝典序曲と対照的で対のように作曲。ブラームスはそれぞれを「泣きの序曲」「笑いの序曲」と呼んだ。また悲劇的序曲は特定の悲劇を題材にしたものではないと述べている。
1881年(48歳)	ピアノ協奏曲第2番
1883年(50歳)	交響曲第3番
1885年(52歳)	交響曲第4番
1887年(54歳)	ヴァイオリン協奏曲をささげた親友ヨアヒムとの一時的な不仲を解消するために、構想中の交響曲5番から変更し、ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲を作曲。最後の管弦楽曲。
1889年(56歳)	「ハンガリー舞曲第1番」を蓄音機に録音。自身の老いを自覚する。これが原因か、翌年には作曲を断念し、遺書を書く。
1891年(58歳)	クラリネット三重奏曲 クラリネット五重奏曲 クラリネット奏者ミュールフェルトとの出会いにより作曲を再開する。
1896年(62歳)	オルガンのための11のコラール前奏曲 ブラームス最後の作。 5月クララ・シューマン死去。ブラームスも夏頃に体調を崩す。
1897年(63歳)	4月3日 肝臓がんにて死去

アメリカの使節ペリーが来航し、浦賀で開国を要求する。

日本では西南戦争 エジソンが蓄音機を発明

日本では小学唱歌の制定。「シャーロックホームズ」の相棒ワトソンが参加したという設定の第2次アフガン戦争はこの年。

八幡製鉄所ができる